地域連携
NEWS

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

〒173-0015　東京都板橋区栄町 35 番 2 号
TEL：03-3964-1141（代表）
地域連携課　医療連携係 / 2026年 10月号

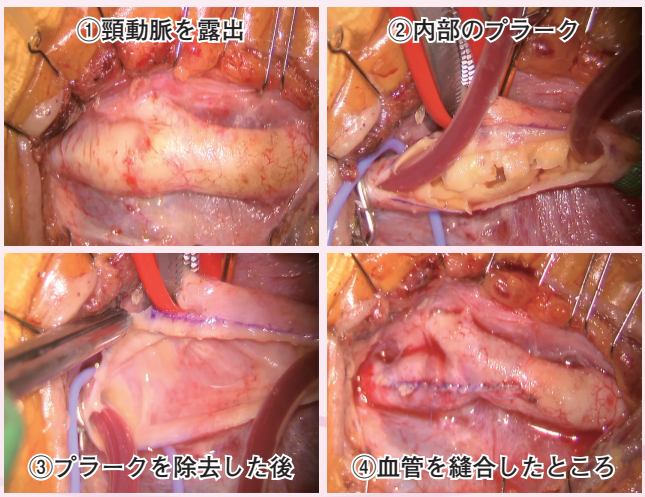


頸動脈エコーをお持ちのクリニックの先生方へ
～頸動脈狭窄症の外科治療について～

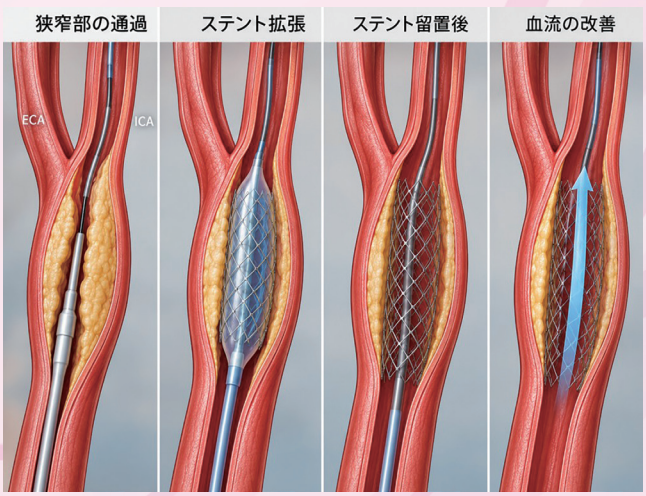
脳神経外科　医長　角田　翔



頸動脈狭窄症は、主として頸部内頸動脈にアテローム動脈硬化が生じ、血管内腔が狭くなる疾患です。脳梗塞を引き起こす機序には、狭窄による脳血流低下（hemodynamic ischemia）と、プラークの破綻に伴う血栓・塞栓の飛散（artery-to-artery embolism）があります。高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病に加え、喫煙や加齢が主な危険因子です。無症状のまま経過し、健診やスクリーニングの頸動脈エコーで偶然発見されることも少なくありません。頸動脈狭窄が疑われる場合には、頸動脈エコーに加えて MRI・MRA、造影 CT などを行い、狭窄率だけでなく、プラークの性状、頭蓋内血管や脳梗塞の有無などを総合的に評価します。**頸動脈エコーで狭窄や不安定プラークが疑われる患者様がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にご紹介ください。**治療には、**頸動脈内膜剥離術（CEA）、頸動脈ステント留置術（CAS）、内科的治療**の 3 つの選択肢があります。CEA は、頸動脈を切開し、狭窄の原因となっているプラークを顕微鏡下に直視しながら摘出する手術で、頸動脈狭窄症に対する標準的な外科治療です。一方、高齢、重篤な心肺合併症、頸部放射線治療後など、CEA のリスクが高い患者様では、カテーテルを用いて狭窄部を拡張する CAS を検討します。また、外科的治療の適応とならない場合には、抗血小板薬などによる薬物療法とともに、血圧・脂質・血糖管理、禁煙など動脈硬化危険因子の管理を行います。



頸動脈内膜剥離術



頸動脈ステント留置術

【外科的治療を検討する目安】

● 症候性頸動脈狭窄症

脳梗塞や一過性脳虚血発作（TIA）をすでに発症している場合には、**50％以上の狭窄**で外科的治療を検討します。特に高度狭窄例では再発リスクを考慮し、適切な時期に治療を行うことが重要です。

● 無症候性頸動脈狭窄症 **

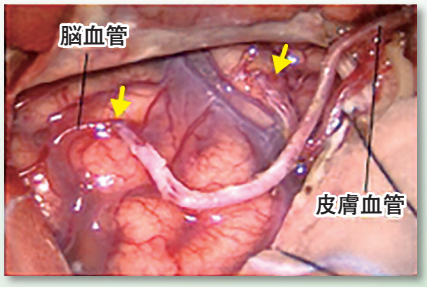
中等度以上の狭窄（**おおむね60～70％以上**）** では、狭窄率のみで判断するのではなく、**プラークの不安定性、病変の進行、年齢、全身状態などを踏まえて治療適応を慎重に判断します。**当科では、患者様一人ひとりの病変や全身状態を詳細に評価し、CEA・CAS・内科的治療から最適な治療方針を選択しています。高齢の患者様や複数の基礎疾患をお持ちの患者様についても、安全性を重視しながら治療をご提案いたします。

【当科で扱うそのほかの疾患】

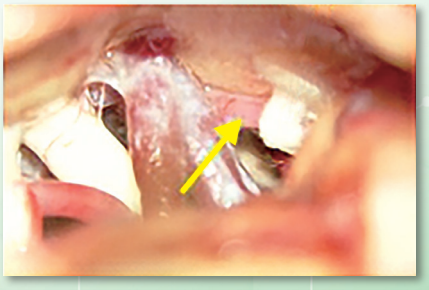
当科では、頸動脈手術以外にも、脳動脈瘤クリッピング術、血行再建術（頸動脈内膜剥離術、脳血管バイパス術）、三叉神経痛・片側顔面痙攣に対する微小血管減圧術などの標準的手術から、頭蓋底腫瘍などの高難度手術まで幅広く対応可能です。治療方針にご苦慮される症例や専門的治療を要する患者様がおられましたら、ぜひご相談ください。



脳動脈瘤クリッピング術



脳血管バイパス術


微小血管減圧術

外来医師配置表はこちらよりご確認いただけます。

各種問い合わせ



- **医療連携係（直通）** ☎ **03-3579-6963**（平日 9:00～17：00）
- **予約センター** ☎ **03-3964-4890**（平日 9:00～17：00）
- **緊急受診・緊急入院のご相談** ☎ **03-3964-1141**
  ※「緊急受診（入院）の依頼です。〇〇科の連携当番医につないでください」とお話ください。
- **脳卒中科ホットライン** ☎ **080-4116-1141【医師直通】**
  ※脳卒中の発症が疑われる場合にご活用下さい。
- **循環器ホットライン** ☎ **03-3962-8325【医師直通】**
  ※急性冠症候群、弁膜症、心不全、不整脈、大動脈瘤、大動脈解離、急性動脈閉塞など緊急対応が必要な時、その他お困りの時は、いつでもご連絡下さい。
- **急性腹症外科ホットライン** ☎ **03-3964-3260**（平日 9:00～17：00）**【医師直通】**
  ※令和７年４月21日より電話番号変更
  ※虫垂炎、胆嚢炎、消化管穿孔、ヘルニア嵌頓、絞扼性腸閉塞などを疑う急な腹痛。診断がついていない状態でも構いません。